

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
請求実務演習Ⅲ Medical codingⅢ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	（請求実務演習Ⅰ・Ⅱ履修者） メディカルクラーク検定必修科目	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護保険実務論・介護保険請求実務				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
医療情報処理演習、基礎医学・臨床医学科目				
担当者にに関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
古川 貴子	本館2階	火・水・木・金の9時から16時（授業時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
診療報酬（医療費）の仕組みや算定方法について、請求実務演習Ⅰ・Ⅱで触れられなかった内容を中心に①診療報酬点数、②診療録（カルテ）、③診療報酬請求事務、④診療報酬明細書（レセプト）の4つの事項を主たる授業内容とし、制度の理解とその運用についての習得を図る。また、12月に受験する検定対策も行う。				
授業の目標				
①診療録（カルテ）の専門用語を理解できるようにする。 ②外来と入院の診療報酬明細書の点検が正確にできるようにする。 ③医療事務技能審査試験に合格できるようにする。				
授業の方法				
演習問題の事例を検討しながら、正確な請求業務と先進医療の理解を深める。				
学習の成果（学習成果）				
①公費負担医療制度に基づき診療報酬明細書（レセプト）を点検することができる。 ②医療事務技能審査試験に合格できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	外来カルテ点検及び事例検討（内科）			
第2回目	入院サマリー点検及び事例検討（内科）			
第3回目	外来カルテ点検及び事例検討（外科）			
第4回目	入院サマリー点検及び事例検討（外科）			
第5回目	外来カルテ点検及び事例検討（小児科）			
第6回目	入院サマリー点検及び事例検討（小児科）			

第7回目	外来カルテ点検及び事例検討（耳鼻咽喉科）	
第8回目	入院サマリー点検及び事例検討（耳鼻咽喉科）	
第9回目	公費医療制度のカルテ点検及び事例検討 ①	
第10回目	公費医療制度のカルテ点検及び事例検討 ②	
第11回目	公費医療制度のカルテ点検及び事例検討 ③	
第12回目	DPC・電子カルテ（ICDコーディング）の基礎	
第13回目	請求業務の実際 ①	
第14回目	請求業務の実際 ②	
第15回目	請求業務の実際 ③	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	出された課題に集中して取り組んでいる。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業の進捗に合わせて随時確認テストを行い、理解度に応じて評価する。
試験	40%	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
診療報酬早見表（医学通信社） 医療事務医科テキスト1～4（ニチイ学館） 医療事務医科スタディブック1～3（ニチイ学館） 医療事務医科ハンドブック（ニチイ学館）		
履修上の留意点・ルール		
請求実務演習Ⅰ・Ⅱを履修していること。 メディカルクラークを受験する場合は必ず履修すること。 電卓を必ず用意すること。		